

氏名	會田 みゆき	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	成人看護学				
学位	修士（保健学）				
学歴	1986年弘前大学教育学部特別教科看護教員養成課程、 2014年女子栄養大学栄養学研究科保健学専攻修士課程				
経歴	1986年虎の門病院看護師、1989年埼玉県立衛生短期大学看護学科助手、1997年埼玉県立衛生短期大学看護学科講師、1999年埼玉県立短期大学看護学科講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授				
所属学会（役職）	日本看護研究学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本糖尿病学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本エンドオブライフケア学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	「もしも」の時の医療・ケアにおける話し合い行動意図尺度：Web調査による信頼性と妥当性の検討	共著	あり	○	Pallative Care Research、18（4）、213-223	山口乃生子、山岸直子、 <u>會田みゆき</u> 、畔上光代、河村ちひろ、星野純子、浅川泰宏、佐瀬恵理子、島田千穂	2023.10.23
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	多重課題場面における看護学生の視覚情報と思考の特徴－看護師との視線分析の比較－	共同	日本看護学教育学会第33回学術集会、福岡市		○ <u>會田みゆき</u> 、常盤文枝、山岸直子、金さやか、東口晴菜		2023.8.26
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	視線分析を用いた多重課題における臨床推論力を高める教育プログラムの開発		研究代表者		2020.4～2024.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	「もしも」の時の医療・ケアの話し合い行動意図尺度を用いた家族参加型ACP研修の開発		研究分担者		2023.4～2025.3	
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	臨床実践看護	○	8コマ	科目責任者として、講義・演習の企画、運営を行った。グループワーク、シミュレーション演習を取り入れ、臨床場면을意識しながら取り組めるよう工夫した。			
2	リハビリテーション看護		1コマ	中途障害のある患者へのアプローチ（呼吸機能障害）を担当した。生活の場での視点がもてるよう工夫した。			
3	成人看護学Ⅴ		2コマ	「栄養・代謝機能障害（糖尿病）をもつ人の看護」3コマを担当した。TBLで実施した。			

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床実践看護	○	7コマ	聴取、触診、打診の技術演習は感染対策を講じながら対面で実施した。
2	成人看護学Ⅱ		6コマ	ヘルスアセスメント演習「身体活動の診察」を担当した。
3	成人看護学Ⅴ		14コマ	「糖尿病をもつ心不全患者事例の看護過程演習（3グループ）」6コマ、「糖尿病食事療法指導に関する演習」1コマ、「入退院支援・在宅移行支援が必要な慢性病をもつ人の看護」のグループワーク2コマ、技術演習3コマ、シミュレーション演習2コマを担当した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅰ		2023.5～2023.6	3年次生を対象に手術室見学実習指導を担当した。臨地での体験が制限される中、カンファレンスで体験を共有できるよう進めた。
2	成人看護学実習Ⅱ		2023.5～2023.6	3年次生を対象に内科系病棟にて4週間4グループの臨地実習指導を行った。受け持った患者の看護過程が展開できるよう個別指導を実施した。患者の安全確保と実習環境整備のため、施設側との調整を頻回に実施した。
3	総合実習		2023.7	4年次生4名を担当した。学生の課題が達成できるよう支援した。
4	IPW実習		2023.10	学生6名を担当した。学生が主体的に参加できるよう、またチーム形成のサポートを行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4～2023.12	主指導 3名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	すぎと町民大学	杉戸町教育委員会	生活習慣病予防のホップ・ステップ・ジャンプ！－健康長寿をめざして－	2023.7.8
2	埼玉未来大学（中央学園）	いきいき埼玉	認知機能と生活習慣病－抗加齢的生活のすすめ－	2023.9.12
3	埼玉未来大学（北部学園）	いきいき埼玉	認知機能と生活習慣病－抗加齢的生活のすすめ－	2023.10.11
4	埼玉県立大学オープンカレッジ講座	北本市高齢介護課との共催	さいごまで自分らしく生きるための心づもり ～「もしも」の時に備えて～	2023.10.28
5	埼玉県立大学WEB講座（第27回）		生活習慣病予防のための食生活	2023.10
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	春日部市防災会議	委員		2014.7～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員		2023.4～

2	学科等における委員会等	カリキュラム運営検討会	2023.4～
3	学科等における委員会等	臨地実習教育協議会学内企画会議	2023.4～
4	大学広報活動	オープンキャンパス 教員相談	2023.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	日本看護学教育学会第33回学術集会優秀演題賞－発展部門（示説）	日本看護学教育学会	2023.8
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		